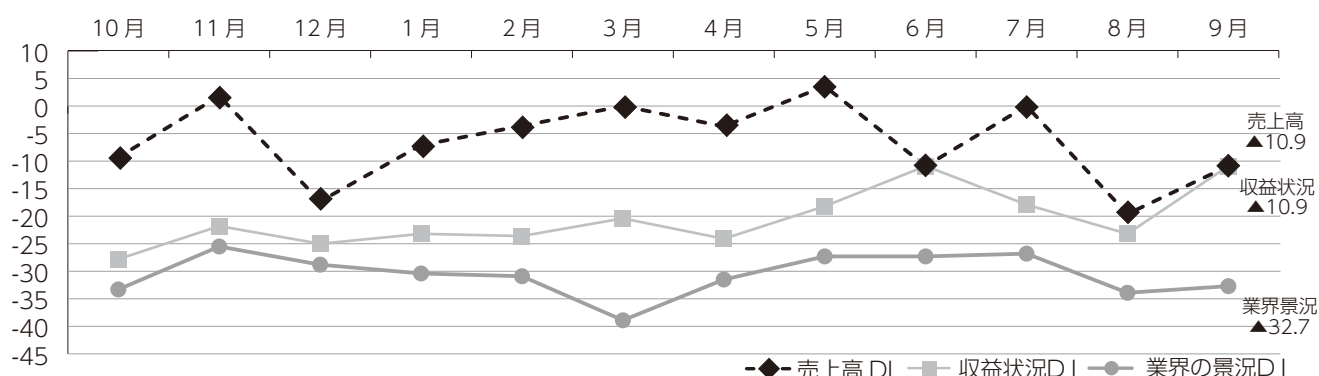


コスト高騰に加えて、最低賃金改定を危惧

概況

月前半の残暑は、特に非製造業で生産性低下を招き、その状況に原材料や燃料費の高騰、人手不足が加わって収益に影響を与えた。また、来年3月に控えている最低賃金改定への対応を危惧する声も聞こえており、中小企業の経営は引き続き厳しい状況が続いている。

主要 DI の推移 (全体)



景況天気図 (前年同月比)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
製造業	食料品	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	繊維製品	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	窯業・土石	☁️	☀️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	機械・金属	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	その他	☁️	☁️	☀️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️
非製造業	卸売業	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	小売業	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	商店街	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	サービス業	☁️	—	☀️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	建設業	☁️	—	☀️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	運輸業	☀️	—	☀️	☁️	☁️	—	☁️	☁️

減少悪化 ← ☁️ ☁️ ☁️ ☁️ ☁️ → 増加好転

天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI 値を基に判断したものです。
DI 値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	【パン】 原材料費や人件費が上昇する中、価格転嫁を重要視。 【菓子】 今後のもち米等の値上げに伴い、販売価格の値上げを考えている。 【製麺】 経費の増加、従業員確保難、一部業者の廉価販売等があり厳しさが続く。
織 維 製 品	【織物（桐生）】 広幅（婦人服地）関連は、川下のアパレルの景況が悪く受注減が顕著。一部の特殊織機でしか対応できない製品への限定的な注文が中心であり、対応に苦慮。 【織物（伊勢崎）】 広巾織物（インテリア分野）は展示会準備で繁忙。今後の取引拡大に期待。 【刺繍】 猛暑から消費者の衣類購入意欲が低下していることに加え、燃料費・人件費高騰の影響で収益確保が困難。刺繍によって付加価値や特別感を訴求する必要性を感じている。 【インテリア】 住宅着工件数は緩やかに減少する中、売上高も昨年比で減少しており、今後の需要期を懸念。物価高が続き、カーテンの買い控えは顕著に表れている。
窯業・土石	【コンクリートブロック】 売上高は前年同月比で2割近い上昇。酷暑や猛暑の勢いも一段落して、現場の進捗も遅れの解消に向かった一月だった。 【生コンクリート】 出荷量について、多くを占める東毛地区は大幅に増加したが、中央地区ははじめ多くの地区では減少したため、全体では減少となった。 【碎石】 売上高は全地域で減少。公共事業によるところが多いが、4地域で碎石使用工事（事業）が少なく、東毛地域は民間工事も減少しており、厳しい経営状況が続く。
機械・金属	【めっき】 金利上昇による負担増加に加え、トランプ関税の影響を危惧。コスト低減策として、めっきのグレードダウンを検討しているケースが出始めている。 【機械金属（高崎）】 自動車部品関連製造業は、全体的な受注減少で厳しい環境下にある。一方、半導体関連製造業では、AI関連等半導体の活発な動きもみられる。 【自動車関連】 8月から続くスバルの生産ラインの稼働停止の影響により、10～30%ほどの生産減少している企業がみられ、今後の懸念要因となっている。 【電機関連】 電気鉄道向けでは駅の改修や渋滞緩和のための高架橋工事等、電力向けでは再エネに向けた水力発電の整備等、例年よりも案件が大型化・長期化している傾向。
そ の 他	【家具】 仕入れコストの上昇から海外調達が加速。国内製造業者にとっては厳しい状況。 【紙製品】 最低賃金上昇の負担感も重く、価格転嫁の必要性を感じている。 【ゴム製品】 最低賃金上昇への対応方法を検討している。

《非製造業》

卸 売 業	【紙卸売業】 仕入価格の上昇と需要減で厳しい状況。環境配慮型製品や小ロット・短納期等新たなニーズへの対応力が求められており、対応の模索が続いている。 【再生資源】 鉄屑について、価格は若干強含み。しかし、メーカーの生産数量は相変わらず低水準であり、価格転嫁出来るような状況ではない。
小 売 業	【電機】 10月から前橋市より防犯機器への補助金が出るため期待を寄せている。 【石油】 9月は猛暑で外出を控えたせいか売上高は減少。これからの灯油シーズンに期待。 【生花】 暑さの影響から季節の花材の入荷が減少し、秋の演出が困難だった。
商 店 街	【前橋市】 街中に人が戻ってきつつある印象。中央広場を中心に各通りで毎週末イベントが開催され、どのイベントも多くの賑わいを見せている。 【沼田市】 花火大会が開催され、市内外から大勢の来街者があった。 【藤岡市】 9月中旬以降、ようやく気温が下がってきたものの、来街者も減少傾向となった。
サービス業	【建築設計】 経営面では、需要減少による価格競争と収益性の乏しさが深刻。人材面では、若手不足や長時間労働の是正、ベテランから次世代への技術承継が進まず苦慮。技術面では、BIMやDX、省エネ法対応が急務だが、コストと教育体制の面で導入が困難。 【不動産取引】 群馬県への移住希望者を対象としたイベントが県内や首都圏で多数行われており、空き家や中古物件の利用促進に期待を寄せている。
建 設 業	【建設】 暑さの影響で休憩時間が増え生産性が下がった結果、時間外労働が増えており、年度末の繁忙期に向けて現在の上限規制では対応が困難になることが予想される。 【電気工事】 資材等が高騰しており、特に大型工事等長期間を要する工事は見積もりに苦慮。残暑のため作業環境は良くなかったが、組合員から熱中症災害（重篤）の発生はなかった。 【砂利採取】 出荷量は減少しているが、民間・公共工事需給の端境期によるものと考えている。価格交渉は一段落したが、物価上昇分までは吸収出来ていない。
運 輸 業	【一般貨物運送】 飲料水出荷の伸び悩みもあり、想定していたほど出荷量は伸びなかった。また、最低賃金改定への対応に苦慮。運賃改定を行い賃上げのための財源を確保したいが、荷主が中小規模の場合には財源がないことから反応は鈍い状況。

※本調査は、情報連絡員56人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。